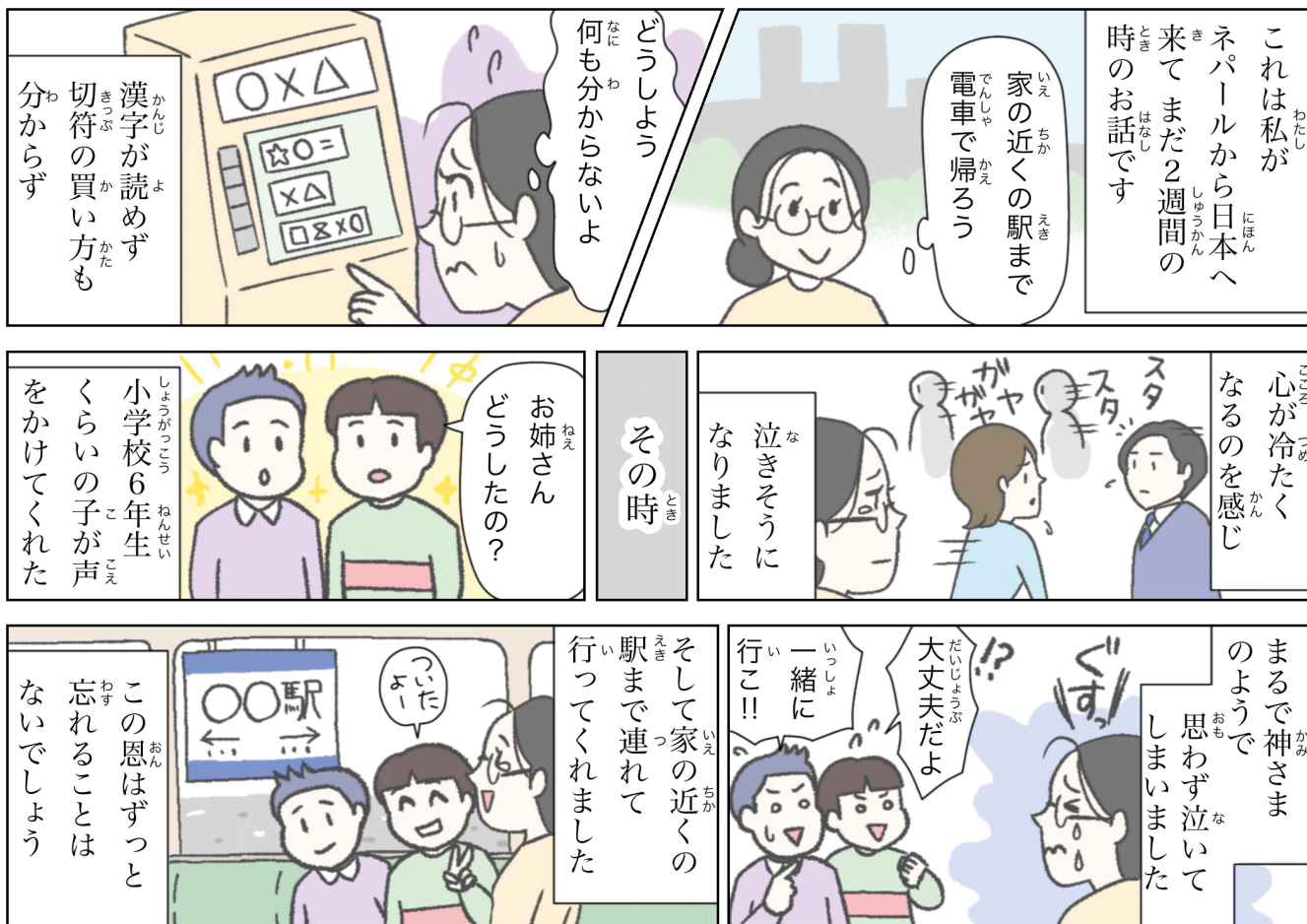


6章：色々な人と仲良くしよう

1. 困った時に声をかけてくれた人のことは決して忘れない



多くの外国人に聞くと、「初めて日本で優しくしてくれた人」のことをはっきり覚えていると言います。

みずも



逆に近寄って話しかけたほうが嬉しいんだね。でも、何を言ったらいいかわからないときはどうしたら良いかな？



ラクシャ

あの子たちのこと、今でも忘れられないよ。思い出すと元気が出る！

そんさん



僕も、初めて学校で声をかけてくれた子といまだにすごく仲が良いよ

ひろ



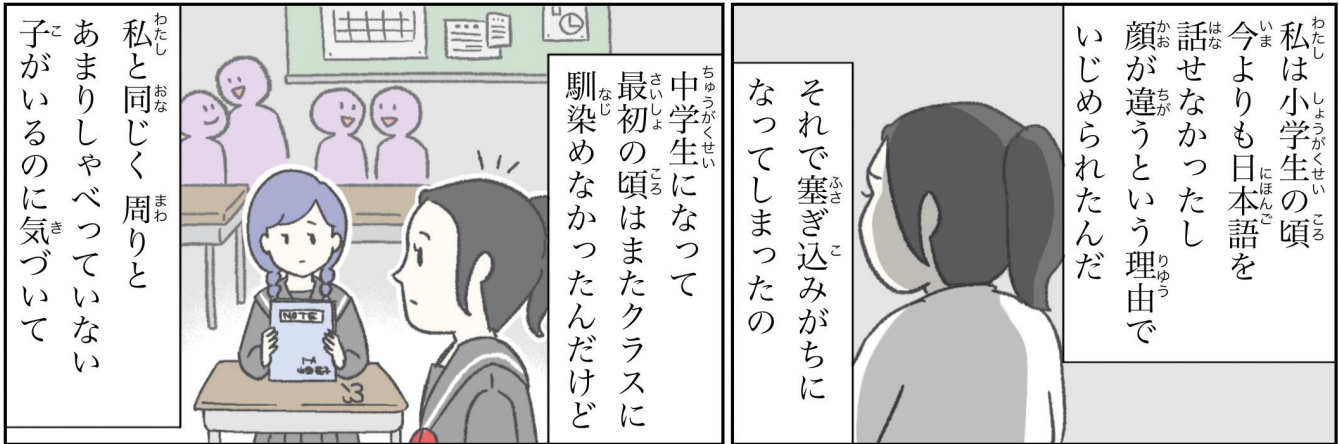
話のきっかけはなんでもいいよ。私の友達はジャガイモだった…

かおり



ジャガイモ？そりゃ、いい！

2. 友達になるには、色々なきっかけがある



私と同じく周りもあまりしゃべっていない子がいるのに気づいて

中学生になって最初の頃はまたクラスに馴染めなかったんだけど

それで塞ぎ込みがちになっちゃったの

私は小学生の頃今よりも日本語を話せなかったし顔が違うという理由でいじめられたんだ



勇気を出して話しかけてみたら



かおりってハーフ？

突然聞いてきた子がいたの

私を外国人としてではなく一人の人間として接してくれる嬉しかったよ



あの映画観た？

興味と同じで日本で初めての友達ができた



あ...

あれ...



あはは そうだね ジャガイモ

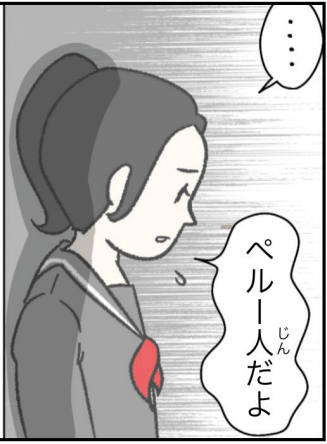
ペルーに興味を持ってくれて嬉しかった



ペルー!?

—ってどこだったけ？

あの頃の私は顔や髪質がみんなと違うことがイヤだったしスペイン語を話せることも隠していた



ペルー人だよ



二人のおかげで自分のありのままのままでいいと思えるようになったよ

日本に来てイジメられて自分に自信が持てない時期もあったけど

私がイヤだと思っていたコトをすべて彼女はポジティブに言ってくれた



さらにスペイン語話せるの!? カッコいいね! 髪や顔がみんなと違うのとっても素敵だよ!

3. きっかけを作ろう!

ラクシャを助けた小学生のように、「どうしたの?」と声をかけやすい場面なら、話すきっかけをつかみやすいですね。ただ、日常の中で誰かと初めて会話をして仲良くなるには「きっかけ」が必要です。まず、相手に興味を示しましょう。

自分と違うなと感じると、話しにくいかもしれませんが、共通点さえ見つけられればきっと仲良くなれます。仲良くなるきっかけとして、どんなものが考えられますか? 次の会話を見て考えましょう。



みずも

二つの言語を話せるなんてかっこいい!
私もそうになりたいなあ~



かおり

ありがとう!いつでもスペイン語を
教えてあげるよ。今度、英語の宿題
も一緒にやろうよ!

だれ
誰がどのようにきっかけを作りましたか?



ガー

ベトナムでよく食べる空芯菜くうしんさいが食
べたくてしょうがないけど、スー
パーでは買えないよね~



そんさん

じゃあ、畑で一緒に作りませんか?

だれ
誰がどのようにきっかけを作りましたか?



よーよー

温かいコーヒーがいいんだけど、上の
段のボタンに手が届かない...



マキコ

押しましようか?何がいい?

だれ
誰がどのようにきっかけを作りましたか?



ひろ

さっきの説明は全部わからなかった。
でもそんなことを言ったら笑われるかな?



ピア

今の話、日本語がすごく難むずかしかった
ね。分からないことがあったら、
いつでも聞いて!

だれ
誰がどのようにきっかけを作りましたか?



ラクシャ

韓国料理がすごく食べたいけど、そん
さん、美味しいお店を教えてください!
好きなメニューもぜひ!



そんさん

〇〇というお店が大好きだよ。
デジクッパという豚肉のスープが
絶品!ぜひ食べてみて!

だれ
誰がどのようにきっかけを作りましたか?

4. 振り返って考えてみよう

教材はここで終わりです。これからは色々な背景を持つ人と仲良くなって、多文化共生を実現することが宿題です！
あなた自身は、どのようにして多文化共生社会をつくっていきますか？気付いたことを振り返って、自分の気持ちや考えを書いてみましょう。

この教材を読んで気付いたこと：

「多文化共生」について思うこと：

色々な人と仲良くするためにできること：

